

第6回U-16山梨プログラミングコンテスト2023



開催報告

○令和5年12月10日（日）
○山梨県立甲府工業高等学校 専攻科



実行委員長 大橋 太郎 様

令和5年12月10日に今年も山梨県立甲府工業高等学校専攻科を会場に『第6回U-16山梨プログラミングコンテスト』が開催されました。U-16プログラミングコンテストは、旭川からスタートした、パソコンやプログラミングに興味がある16歳以下の児童生徒（高校生、中学生、小学生）を対象に、ITの関心を深めてもらい将来のITエンジニア育成に繋げることを目的とした、日本各地で開催されているコンテストです。参加者が作成したプログラム同士を戦わせる「競技部門」と、デジタル作品を審査員が評価する「作品部門」で構成されています。毎年参加者が増加しているため、今回より作品部門では一次審査方式を採用し、通過した7名が最終審査に参加し作品紹介を行いました。当日は競技部門と合わせ、熱戦を繰り広げる中、両部門ともに無事に終了することが出来ました。一部ではありますが、当日の様子をご覧ください。

競技部門 参加者 5名（中学生3名、小学生2名）

競技部門では対戦型ゲームプラットフォーム「CHaser」の上で参加者が作成したプログラム同士を戦わせ、勝敗と獲得点数を競います。長時間掛けて作成したプログラム同士のため、1回の対戦では決着がつかずにマップを変えて再戦を行うなど手に汗握る接戦が繰り広げられました。対戦方法は、参加者5名による総当り戦を行い見事全勝で吉田さんが優勝されました。吉田さんは昨年準優勝からのリベンジ成功です。



結果発表 優勝：小学6年生の吉田怜一さん 準優勝：小学4年生の青柳侑さん

作品部門 最終審査 参加者 7名（高校生2名、中学生3名、小学生2名）

作品部門は、コンピュータグラフィックス（静止画、動画、アニメーション）やWebページや自作のプログラムなど、自由に作成したデジタル作品を審査員が評価する部門です。参加者の皆様には短時間で作品をご紹介いただき、それについて審査員による質疑応答が行われました。自作のシューティングゲームやRPG、クレーンゲームなど、参加者全員が工夫を凝らし、こだわりを持った作品を提出してくださいました。



結果発表 金賞：中学1年生の青柳篤司さん（Unity VRの世界を救え！！）
銀賞：高校1年生の村島輝衛さん（Unity Cosmos）
銅賞：小学4年生の青柳侑さん 審査員特別賞：中学1年生の佐藤凜空さん

■ 競技部門優勝の吉田さんと作品部門金賞の青柳さんは、2024年1月26日に開催される「BCN AWARD 2024 / BCN ITジュニア賞 2024」のBCN ITジュニア U16賞で表彰されることになりました。尚、同時開催で第1回CHaser全国交流大会が開催されますので、競技部門の山梨大会で優勝した吉田さんが出場いたします。

- 主催：U-16山梨プログラミングコンテスト実行委員会
事務局 NPO法人山梨ICT&コンタクト支援センター
共催：山梨県高等学校教育研究会工業教育部会
後援：経済産業省関東経済産業局/ 山梨県/山梨県教育委員会/ 甲府市/ 甲府市教育委員会
甲斐市教育委員会/ 笛吹市教育委員会/ 北社市教育委員会/ 甲府商工会議所
NPO法人ITジュニア育成交流協会/ 山梨大学/ 山梨県立大学/ 山梨英和大学
山梨学院大学/ サンテクノカレッジ/ 山梨放送/ 山梨日日新聞/テレビ山梨/ エフエム富士
協賛：株式会社大塚商会/ 株式会社オービックビジネスコンサルタント/ キューアンドエー株式会社
株式会社シー・シー・ダブル/ Dynabook株式会社/ ダイワボウ情報システム株式会社
トレンドマイクロ株式会社/ ピー・シー・エー株式会社/ 株式会社フォーラムイト
レノボ・ジャパン合同会社/ 株式会社バッファロー

